

すぎなさん



三宅小学校同窓会 会報誌

三宅小学校全校児童数 113名 (男53名 女60名) 平成24年3月15日現在

平成24年3月15日発行

第7号

ご挨拶

三宅小学校同窓会長 前田勉 (第47回 昭和31年卒 井ノ口区)



同窓生の皆さまには、ますますご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。この度、小林和弘会長よりバトンを受け三宅小学校同窓会会長を拝命いたしました。微力ではございますが三宅小学校と同窓会の発展のために尽くしてまいりたい所存です。どうか前会長同様お力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

同窓会の皆さまのご支援・ご協力のもと創立100周年記念式典の開催、遅れておりました同窓記念誌もお届けさせていただき、すべての記念事業を終えることができました。改めて会員の皆様に感謝申し上げます。

記念誌を手にした同窓生から、懐かしい木造校舎や学校で遊んだこと、三宅の里のことなどが綴られた便りを受け取りました。改めて記念誌を開き、そこに書かれている一つ一つの言葉が自分が過ごした小学校時代の思い出につながり、しばし郷愁にふけていました。ただ懐かしさを呼び起こすだけでなく、私の知らない学校生活やふる里三宅の様子など、その100年という歴史の重さを感じています。

大きな事業を終えた今、同窓会として差し迫ったものはございませんが、母校である三宅小学校の子どもたちが、豊かな心を育み健やかに成長してくれるための環境づくりに先生方と手を携えて取り組んでまいりたいと思っています。

最後になりましたが、母校三宅小学校の更なる発展と同窓生の皆様のご健勝を心よりお祈りします。

会員の皆様へ

三宅小学校長 濱田隆



同窓会の皆様には、ますますご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。また、日頃より三宅小学校の教育活動につきまして特段のご支援ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。また、昨年は学校創立100周年を迎え皆様方のご支援のもと、多くの事業を無事終えることができましたことに厚くお礼申し上げます。

ところで、平成23年は3月に東日本大震災という大惨事が起き、私たちはテレビ等を通して悲惨な状況を目の当たりにしました。災害の爪痕は大きく、復興に向けての足取りは重いようです。三宅小学校は今回の災害による被害はありませんが、被災した子どもたちには一日も早く笑顔が戻ることを祈らずにはおられません。

今年度は新しい学習指導要領の完全実施に伴い、各教科の学習内容が多くなりました。そんな中、2年間諸般の事情で中止してしまっていた『三世代交流会』を三宅公民館と連携して実施しました。この行事は学校と保護者、地域住民が交流を深めることを目的としています。当日は老人会の方が中心となって餅つきを行い、みんなで作ったお餅を楽しくいただきました。三宅小学校ではこの他にも地域の方々にお世話になり行っている行事や体験学習が多くあります。地域とのふれあいを大切にし、子どもたちが学べる活動を、これからも継続していければと考えています。今後とも皆様のご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

同窓会便り

回顧

第69回 (昭和53年) 卒業生 河原伸明 (天徳寺区)

私たちの時代の三宅小学校は、講堂と呼ばれる木造の建物が取り壊され、新しく体育館が建設された頃です。プールや、ランチルーム、グラウンド前のスキー練習場など、私たちが卒業した後に、次々と出来ていくのが羨ましく思った記憶があります。

大人になってから、保護者として三宅小学校を訪れた時、あの頃とは何か違う違和感を覚えました。当時の身長とは違いますから、小学校の頃は、広くて高く大きく見えた学校が、今は、小さく感じるのは、あたり前です。でも、それだけではない何か？なんだろう？多分、子どもにしか見えない空間があったのだと思います。私たちには、当時大人たちには到底理解できない、子どもたちだけの世界がありました。放課後に勉強もしないで、親や先生の眼の届かない場所で毎日遊んでいました。文字通りの子どもだけの世界では、ここに書くことができないようなとんでもない事をやって、その秘密を共有して生まれるなんともいえない連帯感は、とても強く、懐かしく、なぜか切なく、最近流行っている映画のワンシーンのような、セピア色の小学校が、思い出されます。その空間や世界が、大人になった今では、見えなくなってしまったのだらうと思います。

今は、電話やテレビ、ゲームなどがものすごく普及して、遊ぶことも昔とは、比較にならないほどたくさ

んあります。また、勉強や行事など、今の子どもたちは、昔よりとてつもなく忙しい毎日を過ごしていることでしょう。それでも、あの景色は、今も変わらないまま、子どもたちに見えているのだろうかと思いつつ、毎朝、家の前をワイワイと集団登校する子どもたちを見ています。



100周年記念樹・十月桜 (H23. 12月)

礎

第93回 (平成13年) 卒業生 中村愛美 (若王子区)

実家に帰省した際、家族にこちらの同窓会誌のお話を聞きました。これまでの記事を書かれた方をみますと、私よりもはるかに多くの人生経験をされた諸先輩方ばかりでした。今回は大変光栄な機会を頂きましたので、小学校を卒業して10年の私ですが、文章を綴らせていただきます。

現在私は県外で暮らしております。地元を離れて改めて実感した三宅地区の良さはやはり「自然の豊かさ」と人の温かさです。毎日片道2キロの道のりを通学しました。四季を彩る植物が顔を出す通学路。毎年秋になると、たくさんある杉の木の中に一本だけあるイチョウの木の花の紅葉を楽しみに友人と下校したのを思い出します。また冬には校庭の斜面でそりやスキーをしたのも覚えております。時々、野生の動物が登場したのも懐かしい思い出です。このような話を県外の知人達にしますと、と



三世代交流 (H23. 11月6日)

ても驚かれ、うらやましがられます。

幼い頃は当たり前すぎて気が付かなかった地元の良さを考える今日この頃です。ニュースでも福井県の幸福度、教育力の高さは取り上げられておりますが、三宅小学校の教育も素晴らしいと思います。私が小学生の頃は、総合的な学習で環境問題や自分たちの住む地域について考えました。校庭の端にある「すぎなさん」がリニューアルされたのもあの頃かと思います。

私たちの学年は「やんちゃで好奇心旺盛」であったため、三宅小学校の先生方や地域の皆様には大変お世話になりました。私たちを見捨てずに熱く温かい目で懸命に見守って下さった皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。私たちも今年で23歳になります。同級生のみんなの近況はよく知らないけれど、みんなの活躍を期待しています。

これからの人生の礎となる三宅小学校にはとても感謝しております。今までの歴史を築いて下さった先輩方、在校生、そしてこれから入学をされる未来の三宅小学校生、皆様に幸多き日々が続きますように！

関係各位

梅の花も散り、桜の便りが待たれる頃となりました。各位におかれましてはご家族、ご壮健ですこやかに
お過ごしのことと心よりお喜び申し上げます。

昨年の3月で三宅小学校創立100年目を迎え、その間、同窓生の皆さん、歴代の学校関係者の皆さん、
三宅地区の皆さん、三宅地区内事業者の皆さん方のご支援、ご協力を頂き、創立100周年記念事業を盛大
に終えることができ、心より御礼申し上げる次第です。昨年秋に記念誌をお届けすることができ、事業を完了
することができました。中には既に転居された方々もあり、会計報告に時間がかかりましたが、この度、
同窓会誌(すぎなさん)に記載させて頂きましたのでご覧下さい。また本事業に対するご寄付等のご芳名帳
を同封させて頂き、創立100周年記念事業の最後の便りといいたします。

皆々様の今後益々のご健康、ご多幸をお祈り申し上げ、お礼に代えさせて頂きます。

三宅小学校創立100周年記念事業
実行委員長 小林 和弘

三宅小学校創立100周年記念事業会計決算書

(単位:円)

科 目	決 算 額	備 考
I 収入の部		
1 寄付金収入		
(1) 地 区 内 世 帯	4,141,000	
(2) 個 人 (篤 志)	15,000	
(3) 地 区 外 同 窓 生	2,247,000	地区外610,000円 地区内 430,000円
(4) 教 職 員 (現、旧)	1,040,000	
(5) 地 区 内 事 業 所	730,000	
2 雑 収 入	690,297	
① 三宅小学校同窓会助成金	395,334	
② 祝賀会会費収入	293,000	
③ 雑 収 入	1,963	預金利息
収入の部計 (1+2)	8,863,297	
II 支出の部		
(1) 事 業 費 支 出	7,948,664	
① 学 校 備 品 購 入 費	3,017,175	
② 記 念 式 典 費	753,740	
③ 事 業 経 費	73,069	
④ 記 念 品 費	496,790	
⑤ 記 念 植 樹 費	85,000	
⑥ 記 念 誌 発 行 費	2,730,000	
⑦ 芝 生 敷 設 費	598,100	
⑧ 事 業 雑 費	194,790	
(2) 管 理 費 支 出	914,633	
① 会 議 費	183,282	
② 通 信 費	277,017	切手、郵送料
③ 事 務 用 品 費	116,722	事務用消耗品
④ 印 刷 費	103,300	案内状、封筒等
⑤ 人 件 費	141,050	
⑥ 管 理 諸 費	52,822	印紙代、郵便振替票印刷代
⑦ 雑 費	40,440	振込手数料
支出の部計 ((1)+(2))	8,863,297	
収支差額	0	

監査報告

三宅小学校100周年記念事業決算報告について、平成24年3月4日に厳密に監査した結果、適正に処理されていることを
確認したので報告します。

平成24年3月15日

平成23年度区長会監事

勢馬 次郎
橋本 敏博



三宅小学校 同窓会費 決算報告 (見込み)

収入の部

項目	金額(円)	備考
前年度繰越	21,237	
会費	117,600	300円×392人
入会金	9,500	500円×19人
貯金利息	15	
計	148,352	

差引残高

25,972円は、次年度の会計に繰り越させていただきます。

平成24年3月5日

三宅小学校同窓会事務局

支出の部

項目	金額(円)	備考
事務費	5,820	印刷用紙・切手代
会議費	1,960	同窓会理事会
同窓会会報誌	54,600	同窓会会報誌印刷費等
維持管理費	60,000	芝生駐車場管理・積立
計	122,380	

地域ボランティアによる クラブ活動紹介



茶道クラブ



篆刻クラブ



読書クラブ



エコ環境クラブ



将棋クラブ



歴史クラブ



生花クラブ



吟舞クラブ

編集後記

昨年度、三宅小学校100周年記念事業で植樹した十月桜が12月、可憐な花を咲かせました。第7号を発刊するにあたり、今回は同窓生からの投稿と、三宅小学校ならではの地域との連携を図るクラブ活動の様子も掲載しています。同窓会誌も十月桜の開花と共に地域の皆様のご協力を得て、新たなスタートを切りました。

最後になりましたが、同窓会員皆様方の御健勝を御祈り申し上げます。

平成24年3月吉日

平成23年度 三宅小学校同窓会 会報誌 編集委員

中村浩人 (若王子区理事 第89回卒)

三木研一 (天徳寺区理事 第53回卒)

田中稔 (天徳寺区理事 第61回卒)

辻本康則 (あじさい団地理事 第79回卒)

岩崎かず代・高柳志帆 (同窓会幹事)

同窓会会報誌は、三宅小学校ホームページでも配信しています。

<http://kore.mitene.or.jp/~s-miyake/>

同窓会事務局住所

〒919-1542

福井県三方上中郡若狭町井ノ口49-11

三宅小学校内

電話：0770-62-0005

FAX：0770-62-0038

電子メール：miyake-es@edu.town.wakasa.fukui.jp